



多文化共生・地域交流事業  
かんちゃんホットルーム 号外  
きずな号

2020年6月5日発行

新型コロナウイルスの影響によって、3月から「かんちゃんホットルーム」（主催：かんちゃんの小さな家、共催：安土まちづくり協議会）は中止していますが、再開後の「かんちゃんあそび村」に向けて「手づくりのおもちゃ」を募集したところ

## 地元のおじいさん、おばあさんから すてきなプレゼントが届きました♪

あそび心をくすぐる  
手づくりのおもちゃ

❤ 2ページも見てね

「子どもたちが これ何やろ？・・・って  
いろいろ考えてあそびはじめる。  
そこが楽しいのよね♪」 [おばあさんより]



ころころあそび



ふしぎなひも



バランスゲーム

「かんちゃんホットルーム」  
再開！再会♪は7月から

◇予定・内容

7月18日（土）「かんちゃんあそび村」

8月 「ヨシを使ったクラフト」

◇会場：安土コミュニティセンター

※これは6月当初の予定です。「新型コロナウイルス感染防止対策」のもとで開催します。これまでのスタイルを大きく変更することをご了承ください。安全で安心して参加できる「ホットルーム」に向けて、皆さまのご意見や当日の運営面でのご協力をお願いします

「相談ルーム」は、6月から再開しています。お気軽に声をかけてください。

(6ページをご覧ください)



交流のひろば

全国に「緊急事態宣言」が出され「休校の延長」「ステイホーム」の  
ゴールデンウィーク・・・この間、「かんちゃんの小さな家」では  
“子どもたちの様子”や“みんなの思い”を交流する  
取り組みをすすめてきました。(3~6ページ)

(2)

# 楽しみだね かんちゃんあそび村♪

## 子どももおとなも楽しめるよ♪



「不思議なひも」(サランラップの芯(しん)とひもが材料)

黙って置いておくと、子どもたちは「なんやろ?」と思って、長く出ているひもを引っ張ると…あれ?  
あれ?あれ?って、あちこちのひもを引っ張りはじめますね♪  
だれでもおもしろく遊べる。どうしてそうなるのって?それは…どうしてかな(^^♪ [おじいさんより]

### うわ~っ6段だ!

ヨーグルトの容器に広告の絵などを貼り付けてカラフルに♪容器をたてにしたり、横にしたり、いろんな積み方が!さて、もっと高く積むには…?



### 好きなあそび 考えてね♪

お手玉遊びも楽しいし、ころころ転がして遊んだり、高く放り投げてキャッチしたり…。ボーリングにすると、突起があるので思ったとおりに転がらないかも。それが楽しいね!それとね、強くキャッチするとつぶれるからやさしくね!  
[おばあさんより]



手づくりのビー玉ゲーム盤

ゲーム版は、ビー玉の大きさに合うホースを選び、5ミリ幅で切っていきます。37のリンクを空箱のふたなどを利用して貼りつけます。5セットいただきました♪  
あそび方は?ルールは簡単です。  
でも、最後の1個になるには…  
なかなか、むずかしいよ♪



### 牛乳パックで

### 作った「ヨーヨー」



数字カードゲーム



### これっ びっくり箱だよ!

6箱分の牛乳パックを使って出来上がった手作りの「びっくり箱」!子どももおとなもだれもが楽しめる…  
かんちゃんも、思わず「わわわわわわわ~」って声が出たよ♪【これは昨年12月、「ひよっこクラブ」の方からのプレゼントです。】



皆さまからの「こえ」  
「思い」を届けて  
ください。引き続き  
お待ちしています！！



## 一斉休校延長！ “ステイホーム” ウィーク



# 分散登校→学校再開！

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月の初めに“いきなり休校”に！その後、全国に「緊急事態宣言」が出され「休校の延長」、4月末からのゴールデンウィークは「“ステイホーム” ウィーク」に・・・。

「かんちゃんの小さな家」では、みんなで遊んだり、世界や地元の食事を楽しんだりできなくても、「ひとりじゃないよ！」 「つながってるんだよ！」・・・との思いを込めて、『交流の広場』にメッセージをよびかけてきました。市内外からいただいた皆さまからのメッセージは、「かんちゃん通信」(4月)に続く第2回目を、今回の「号外」で「交流」していきたいと思います。(4~6ページに続きます)



## おうち お家からの



◇お休みの期間が長く、だんだん退屈な日々を送る子どもたちです。毎日ゲームをしています。ゲームの中で、会話ができます。常に一緒にいる感じです。ゲームをしなくとも、LINEで連絡をとりあっています。今どこにいるか?わかるというアプリも、高校生には人気のようです。時代の流れを感じます。コロナ期間、ネット社会が加速しているように思います。(5月6日)

◇子どもが兄弟げんかの毎日、うんざりしています。休校が長引き、学校からの課題だけで、学習の遅れ、学力の低下が心配です。(5月5日)

◇息子二人が休校で時間ができた、時間と気持ちにゆとりが出たのか、一緒にじゃれたり、将棋をしたり、前のように遊び始めました。二人で笑い声をあげていると、とてもうれしく思います。家族それぞれ時間と仕事や課題に追われて、個人としての生活になっていたなと思いました。(5月7日)

◇地球は一つ！グローバル！と連帯を広めて活動してきたのに、ウイルスも広まるのはアッという間でした。このままでは、元の活動ができる日がいつ来るか、正直不安です。暮らしの応援ができるような活動があれば声をかけてください。(5月6日)



◇学校から、登録している私の携帯に、子どもの宿題などの連絡が入ります。でも、兄弟いっしょには見られないでけんかに！勉強は教えなあかんし、もう大変！時間や日をずらせて登校させるとか、考えてもらえないのかなあ。(5月7日)



◇はじめまして。チラシを見てメールしました。小学1年と小学3年の子どもが2人います。下の子は今春、小学校に入学しましたが、入学式の翌日から休校になりました。学校生活をとても楽しみにしていたので残念です。家では兄と遊んでいますが、こんな時でも、みんなとつながっている、一人ではない感じことはとても大切だと改めて感じました。一日でも早く日常に戻れればと思います。「かんちゃんホットルーム」の案内チラシ楽しみにしています。(5月4日)

◇学校側からZoomの授業・・4月は少しずつですが慣れてきました。ノートの作り方などの動画は助かりました。連休明けからZoomで8時半に朝礼が始まるので、6時には起床することに。「休校中は、がまんの時なのだ」と思って、自分のできることをがんばっているようです。(5月5日)

**“子どもたちは、休校中の生活を背負って登校しています”**  
～再開後、不安に思っていること・気になること…お気軽に寄せください！～



## たんぽぽ安土教室より



たんぽぽ安土日本語教室ボランティア 岩元雪子さん

### 「ゴールデンウィーク、おうちで なにしていますか？ おしえてください」

「たんぽぽ安土教室」の学習者さんに、アンケート「ゴールデンウィーク、今どうしている？」（長期にわたる生活面での制限について、外国人の方々が“どのような不安を抱えているのか”について）をお願いしましたところ、7名の方から回答をいただきました！貴重な「声」「思い」を届けていただき、ありがとうございました。その内容の一端と「安土日本語教室」の様子を簡単ですが紹介します。

#### Q1. ゴールデンウィークは 何をしていますか？

家で掃除しています。／コロナウイルスですから、ゴールデンウィークのあいだに外に出かけることができません。／家にいます。／いつものとおり仕事と家の事をしてます。

#### Q2. コロナで心配していることはありますか？

仕事がなくなるかもしれません。（複数）／子どもの学校が休みなので、どうやって勉強させればよいですか！／あります。工場とスーパーしかいけません（泣）／どこにも出かけられません／日本語のニュースがわからないです。

#### Q3. 日本語教室は、5月も休みです。オンラインでしゃべったり勉強したりしたいですか？

はい。Yes, please.（複数）／3月から仕事は／

／夜勤ですから、休みの日は昼まで寝ます。私は日本語を勉強したいですが、皆さんと勉強することができません。／ビデオで勉強するなら、私は長い時間出来ません。プライバシーの部屋があります（汗）

・・・安土日本語教室のようす・・・

3月から教室が長らく閉鎖しています。対面での学習ができない状態ですので、外国人の方がオンラインでの日本語学習を希望されているかどうかを聞きました。4月から、4名の希望者にメッセージを使って、オンライン学習を始めました。また、安土教室のグループフェイスブック内でクイズを投稿し、オンラインを活用した日本語学習の工夫をしています。



## 山下英三郎さんより

「家の中で子どもたちがどう過ごすか」というような観点からではなく、「表で遊んだり、他者と交流する機会を作り出していくか」という発想で工夫をしていくことが必要です！



「休校中の子どもたちの声・様子」をはじめ、感じていることをお聞きする活動のなかで、山下英三郎さんは、活動へのアドバイス（「新型コロナ禍での活動の基本的な視点等について」）をお尋ねしました。さっそく、次のようなメッセージをいただきました。山下英三郎さんは、日本スクールソーシャルワーク協会の名誉会長で、現在、長野県で『NPO 法人コスマス村 代表』をされています。これまでに、「スクールソーシャルワーク研究会しが」の講座や修復的対話（RJ）の研修会で講演をお願いしてきました。

僕がこの間考えていることは、子どもたちに家の中で過ごすことを求め、外遊びを禁じるなどのやり方は、ある意味では虐待だということです。遊びと外気に触れ続けることは、子どもたちの生存にとって不可欠だと考えているので、そうした機会を奪い続けることは、あとで必ず何らかの形で影響が出てくると思っています。

そういう意味では、「家の中で子どもたちがどう過ごすか」というよく言われているような観点からではなく、「具体的に彼らが表で遊んだり、他者と交流する機会を作り出していくか」という発想で工夫をしていくことが必要だなと思っています。

外国籍の方たちなどにとって、外部との交流の機会が閉ざされることは、拘禁されているような感覚にとらわれるでしょうから、さらに必要性が高いですよね。感染リスクを配慮した行動はもちろんいうまでもありませんが、過剰な予防策は精神を圧迫して、かえって負の影響の方が大きいように思っています。とにかく、僕自身は“子どもたちを閉じ込めては弊害が大きすぎる”ということを前提にして、行動や活動を組み立てることが重要だと考えている次第です。

長野県富士見町 山下英三郎さん



かんちゃんの小さな家

# “子どもたちや保護者・地域の皆さまへ”

## 友の会より



### 人とつながると元気が出ます！

コロナの影響で、今までのように自由な動きができなくなりましたね。

友達と会えない、外でみんなと思いつきり遊べない、かんちゃんの家に気軽に行けないな、せっかくお友達になった人とこれからどうなっていくのかな。不安になりますね。

私は、パーキンソン病という体がだんだん動きにくくなる難病になりました。20年たって、当たり前にできる「ご飯を食べる、トイレに行く、お風呂に入る、歩く」ことが、お薬が切れるとピタッとできなくなっていました。一人で自由に外へ出ることは難しくなってきました。でも、今は、同じ病気で苦しんでいる仲間や、それを応援してくれる医療従事者の方たちと、パソコンのonlineシステムを利用して、リハビリ運動をしたり、困ったときの知恵を出し合ったり、情報交換をしたりしています。人とつながると、元気が出ます。だんだん調子もよくなっていました。

今までの経験を大事にして、これからどうしようか、参加しているみんなで知恵を出し合えるといいですね。「かんちゃんの家」と関わる全ての人たちに、エールを送ります。

(東京の応援団より)

### 子どもは、わいわい、がやがやが大好き！

いつも「かんちゃん通信」など送っていただき、誠にありがとうございます。毎回、こころあたたまる内容・・・「通信」の子どもたちの声・・・子どもは、わいわい、がやがやが大好き。その機会を奪うコロナを恨みます。

皆様のご安全とご健康をお祈り申しあげます。  
(長浜市)

### みなさんのおかげで

### 元気で過ごせています！

私には、一生治らない難しい病気があります。お医者さんから、風邪をひくだけでも命取りなので、気をつけるようにと言われています。ですから、コロナがこわくてたまりません。

今、私が感染せず、元気に過ごせているのは、みんなが、たくさんがまんをして、家にいてくれているからだと思っています。ありがとうございます。早く元の生活にもどれるよう、もう少しの間、みんなでがんばりましょう。

(神戸市)

### 畑で土をさわっていると

### 心が落ち着きます！

コロナで週末のイベントがなくなったり、友人と気軽に集えなくなったり、今までの当たり前の生活が、がらっと変わって戸惑いました。

ですが、今は家族で過ごす時間、家のことや手仕事、畑に取り組む時間が前よりも増え、これはこれで豊かな時間だなと思っています。

医療関係者の皆様の苦労は察しきれませんが、今わたしにできることは、自分自身で気をつけられることをしっかりして、元気でいること、と思っています。

工夫していることは、ニュースを適度に見る(見すぎない)ことと、太陽を浴び、土と触れる時間を積極的にもつことです。太陽の光を浴びていないと、夜なかなか寝付けません。

畑で土をさわっていると、心が落ち着きます。元気にこの事態を乗り越えて、また皆で笑って会える日が来ますように！

素敵なお取り組み、ありがとうございます。  
(日野町)

☞6ページに続きます

2017年4月結成の「友の会」・・・地元の方々をはじめ、市内、県内、県外各地の皆さまからの物心両面にわたる心強いサポートによって、「かんちゃんの小さな家」の活動や事業が支えられています。今回も“心のこもったメッセージ”を届けていただき、ありがとうございました！

## “子どもたちや保護者・地域の皆さんへ”

### 人が人を思うことの大切さを考えさせられました！

今、私は基本的に在宅勤務です。浅草寺福祉会館は11日まで休館中で、お寺は、本堂祈祷受付以外は諸堂、お守りを授ける所などすべて閉まっています。仲見世はニュース映像もありましたが、ほぼ休業です。静かな浅草になっています。

経済中心で、人とのコミュニケーションを避ける方向へ進んできた社会の結果が今なのか、とも思います。その中で「かんちゃんの小さな家」は3000戸へのチラシ配布！驚きました。また、学ばされました。

以前、アメリカの研究で、ある病を持つ方たちのグループを二つに分け、一方だけに「あなたたちの回復を祈る方たちが



### 友の会より



います」と伝え、経過をみたところ、「祈る人がいる」と伝えられたグループの方が、明らかに経過が良かったという結果になった、と聞いたことがあります。

人が人を思うことの大切さを考えさせられました。かんちゃんの活動からも同じことを感じます。かんちゃんの家からのチラシに心を動かされた方がきっといらっしゃると思います。

将来はこの感染症とは共存という形になるかと思いますが、落ち着いたら、ぜひ、かんちゃんの家におうかがいしたいと思っております。

どうかくれぐれもお大事になさってください。皆さまのご無事と笑顔をはるかにお祈りしております。（さいたま市）

### ご案内 かんちゃんホットルーム

◆参加費：子ども 100円・おとな 300円  
第45回 7月18日(土)

10:30~13:00

会場 安土コミュニティセンター

内容 かんちゃんあそび村（その4）

※事前の申し込みをお願いします。

### かんちゃんとまい子さんの 子ども・若者相談ルーム

子育てや学校生活・卒業後の進路等で  
困ったこと、気になることがあれば  
声をかけてくださいね

6月10日(水) 13:00~17:30

7月11日(日) 13:00~17:30

定例日以外は個別に相談に応じます。(要予約)

問い合わせ先 (かんちゃんの小さな家まで)

### お知らせ 主催：SSW研究会しが 子ども支援学習会

第34回学習会 6月21日(日)

◇会場 コミュニティセンターきたの

◇時間 13:30~16:30

※事前の申し込みが必要です。

### せせらぎ (編集後記)

かんちゃんは、皆さまからの「声」に「なるほど」というなづいたり、届けられた贈り物やメッセージに励まされたり、教えられたり！何度も読み返すうちに、こころが動き出し♪いつの間にか「通信・号外」になりました！子どもをまん中に、思いを深く共有していくことを願いつつ、コロナ禍中の「かんちゃんホットルーム」の“つながり(縛)”を『社会的宝物』にしていきたいです。(か)

※次号「第15号」は、10月の発行予定です！



### ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2

携帯 090-3708-3315 (代表 佐子) FAX 0748-46-3283

e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

